

第7回住民会議意見概要

日時：平成28年10月4日（火）19：10～21：20

場所：役場3階 庁議室

■第7回住民会議の主な内容

基本構想・基本計画（素案）について、前回の委員からの指摘への対応内容や基本構想の説明を事務局で行い、素案全体を通して最終確認を行い、以下のような議論が行われた。

また、今回の会議で住民会議としての基本構想・基本計画（素案）を取りまとめることから、会議で指摘を受けた内容については、委員の方々にメール等で確認していただくこととした。

■基本構想・基本計画（素案）への意見

計画全体に係る内容

- ・構成については最後に行うものだと思うが、行間が詰まっているところがあるので、調整した方が良い。
- ・誤字や脱字等のチェックも再度した方が良い。

■基本構想に係る内容

1. 南風原町の将来像

- ・基本理念の「平和」「自立」「共生」及び将来像の「ともにつくる黄金南風の平和郷」については、今後の10年間においても重要であることから、第四次を引き継ぐこととする（住民会議委員の総意）。
- ・ただし、基本理念の「平和」「自立」「共生」の説明文については、将来像につながるように工夫した方が良い。
- ・基本理念の経緯の説明文の「時代背景や社会動向に配慮しつつ」の「配慮」という表現については、適切ではないと思うので「見極めつつ」や「踏まえ」に修正した方が良い。
- ・3行目の文章の「“黄金南風の平和郷”」のあとに「が」が脱字である。
- ・下から2行目の「まちづくりの基本方向となる基本理念や～」について、「基本方向」という表現が少し読みづらいので、修正してはどうか。

<平和について>

- ・「平和を強く願ってきた心は、歴史的・文化的遺産として」という表現があるが、平和を願う心に対し「遺産」という表現が適切なのか、引っかかる。

- ・「私たちはこうした資産を、暮らしの中に活かす」という表現について、暮らしの中に活かすイメージが湧きずらいと思うので、表現を改めてはどうか。
- ・「世界の恒久平和を願う～平和なまちづくりをめざします。」という表現について、平和という言葉が文章中で重複する印象があるので、「平和なまちづくり」の平和は削除した方が良いと思う。

<自立について>

- ・文章表現として「羽衣伝説」「飛び安里」から最後の「新たな時代の中で自立できる活力、地域力のあるまちづくりをめざします。」へのつながりが少し強引な印象がある。
- ・「自立できる活力」という表現については、今は自立できていないということが前提のイメージに捉えられるので、表現を変えてはどうか。

<共生>

- ・「団結したムラづくり」について、県外の人がみると、「ムラ」という表現が差別的な表現として感じる人もいると思うので、「地域づくり」などの表現にしても良いと思う。
- ・「私たちは、改めて、自然との調和、～再生・創造していくまちづくりをめざします。」の文章については、重複するような表現があるので、もう少し工夫した方が良いと思う。

2. まちづくり目標とまちづくり目標を達成するための柱

- ・「2. まちづくり目標とまちづくり目標を達成するための柱」というタイトルについて、「まちづくり」という表現が続くので、「まちづくり目標とそれを達成するための柱」など重複する表現を工夫した方が良いと思う。

まちづくり目標1：みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち

- ・「協働のまちづくりを実践する段階にはいっています」という表現に対して、今後の取り組みとしては、最初に「学びの場の充実」というのがきているので、まだ実践の段階にきていないということにはならないか。

⇒「序. 総合計画について」の「自治体を取り巻く環境の変化」の文章にあるように、「地方自治法の改正により、基本構想の策定義務が撤廃されたことから地方自治体自らの意志で総合計画を策定し・・・その意味では、行政や町民の主体性が重要になっています。」とあるように、行政と町民が主体性をもってまちづくりを進める為に、学びながら実践していくという意味での表現である。また、南風原町は平成26年に「まちづくり基本条例」が制定されたので、町民と行政による協働のまちづくりを実践する段階にきているということである。

まちづくり目標2：きらきりと輝く人が育つまち

(3) 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

- ・「子どもたちは、無限の可能性を秘めた未来であり、宝です。」という表現について、「未来の宝です。」とした方が読みやすい。

まちづくり目標3：ちむぐるでともにつくる福祉と健康のまち

- ・最後から2段目の段落の「人口増加によって、まちが活性化する一方～」という文章で、人口増加によって活性化するメリットに対して、デメリットの表現が多すぎてマイナスイメージが強調されすぎていると思う。
- ・福祉部門の基本構想なので、このような表現になっていると思うので、逆に「まちが活性化する一方」という表現をとって、デメリットに対する対策が必要になってくるという表現にしてはどうか。
- ・デメリットの表現の「事件や事故の増加」については、このまちづくり目標での対応はできないものなので、削除した方が良い。

(1) ちむぐるで支えあう安心してらせるまち

- ・「全ての住民が社会的に孤立することのない～正しく理解できる目を一人でも多く育てるための環境を充実します。」という文章の中で、重複するような表現がでてくるので、整理した方が良い。
 - ・また、同じ文章中に「育てるための環境を充実します。」という表現については、文章として表現が適切ではないと思う。例えば、「環境を充実させます。」「環境の充実をめざします。」などが適切ではないか。
- ⇒事務局で改めてチェックする中で、重複する文章表現については、修正したいと考えており、修正案を作成しているところである。今回の指摘も踏まえて修正したい。

■基本計画に係る内容

基本計画全体に係る内容

- ・5年後の目標値として「住民の満足度」があるが、どのようにして確認するのか。
- ⇒見直し時にアンケートの実施を考えている。

まちづくり目標2：きらきらと輝くひとが育つまち

現状・課題

- ・「学校における環境の充実」の現状の文章に「保育所と幼稚園、小学校等との連携に努めています。」とあるが、どのように連携しているのか具体的な内容を示さないとわからないので、修正した方が良い。逆に具体的なことが書きづらいのであれば、連携しているのは当たり前なので、削除しても良いと思う。
- ・「ICT化」という表現があるが、注釈などを入れた方が親切だと思う。

4節 障がい者（児）・高齢者支援の充実

- ・ 5年後の目標値として「要介護認定率（要介護 1～5）」が設定されているが、これを目標値として設定するのが適切なのか。施策の展開（2）では、「適切な医療・介護等へつなげられるよう体制を整える」という表現と「高齢者が介護が必要な状態にならないために～」という表現もあるので、どこを目指しているのか分からないので、目標値の設定が適切ではないと感じる。
- ・ 介護が必要な人については、適切な対応ができるように体制を整えることと、介護が必要ない高齢者を増やしていく予防的な取り組みの2つを並行して行わなければならないと考えている。南風原町は今後人口増加が見込まれる中で、「要介護認定率」も高くなることは間違いないが、施策を展開することで、上がる速度をゆるやかにしたという意図がある。